

**府中市庁舎建設基本計画
市民検討協議会における意見まとめ**

平成26年12月

はじめに

本市が目指す庁舎像を明らかにし、設計に向けた基本的な指針となる府中市庁舎建設基本計画の策定に当たって、新庁舎における市民サービスに関わる機能などについて、市民からご意見をいただくことを目的として平成25年8月に公募市民や近隣自治会の代表者で構成された府中市庁舎建設基本計画市民検討協議会を設置いたしました。

市民検討協議会からは、同年12月までの5か月に渡り、全7回の開催を通して庁舎建設に関する多くのご意見を頂戴するとともに、府中市に対する想いも寄せていただきました。

この度、その多くのご意見が基本計画（案）や市民検討協議会から既に提出されている提言書にどのような形で反映されたのかが分かる資料として、まとめさせていただきました。

これらのご意見は新庁舎建設を進めるうえでの貴重な市民の声として、基本計画のみならず今後進める設計段階においても十分参考にさせていただき、新庁舎の基本理念である「市民に親しまれ、府中らしさを受け継ぐまちづくりの拠点となる庁舎」の実現に向けて取り組んでまいります。

目次

第2回市民検討協議会

テーマ 府中市の良いところ	1
府中市の改善すべきところ	2

第3回市民検討協議会

テーマ 議場について	3
「歴史・伝統・文化」を発展させるための庁舎におけるフリースペースの活用方法について	4
市民活動における市民と行政との関係をより良くするための庁舎の役割について	6

第4回市民検討協議会

テーマ 現庁舎について利用者の目線で気付くことや感じる事	8
新庁舎においてユニバーサルデザインの配慮が必要だと感じる事	12

第5回市民検討協議会

テーマ 東日本大震災の際に市民の目線で感じたこと	15
新しい庁舎において検討・改善すべきこと	17

第6回市民検討協議会

テーマ 手続きが分かりやすい窓口にするために	19
身近な存在の窓口にするために	20
待ち時間も有効に過ごせる市庁舎	21

第7回市民検討協議会

テーマ 今までのテーマで言い残したことなど自由意見	23
---------------------------	----

第2回市民検討協議会 テーマ：府中市の良いところ

意見		提言書		基本計画	
		項目	内容	項目	内容
1	緑が多いなど自然が豊か(他23件)	3.1.(1)	大國魂神社や多摩川など自然や緑に恵まれている	庁舎建設を進めるうえで今後の参考にいたします	
2	くらやみ祭がある(他4件)	3.1.(1)	例大祭で地域のつながりが生まれる		
3	住みやすい(他3件)	3.1.(1)	・府中市内には駅が多くあり便利 ・府中市外へのアクセスが良い		
4	大國魂神社やけやき並木がある(他3件)	3.1.(1)	大國魂神社や多摩川など自然や緑に恵まれている		
5	公園など散策する場所が多い(他2件)	3.1.(1)	大國魂神社や多摩川など自然や緑に恵まれている		
6	市内に駅が多い(他4件)	3.1.(1)	府中市内には駅が多くあり便利		
7	都心から比較的近く道路整備がされている(他3件)	3.1.(1)	府中市外へのアクセスが良い		
8	市民が使える公共施設が他市に比べて多く整備されている。(他3件)	3.1.(1)	生涯学習センターや中央文化センターなど公共公益施設が充実しており、使いやすく低料金である		
9	市内に田、畑、水路などがバランスよく存在する	3.1.(1)	田畑や水路などバランス良く構成されており、できる限り残してほしい		
10	遺跡など府中の歴史に親しみを感じる(他4件)	3.1.(1)	遺跡など歴史的資産が多い		
11	道路や歩道、下水道がしっかり整備されている(他3件)	3.3.(1)	道路など公共施設の手入れが行き届いている		
12	多摩川など水辺に恵まれている(他1件)	3.1.(1)	大國魂神社や多摩川など自然や緑に恵まれている		
13	証明書などの手数料が他市と比べ安い	3.1.(1)	交付手数料が他市より安い		
14	競馬場など有名な施設がある	3.1.(1)	競馬場や競艇場など有名な施設が多い		
15	財政が豊かで政治が安定している(他3件)	3.1.(1)	治安の良さや政治の安定が施設利用の便利さを支えている		
16	防災施設が整っている	3.1.(1)	治安の良さや政治の安定が施設利用の便利さを支えている		
17	市内の企業や大学の音楽会がある				
18	農協販売所がある				
19	学生が遊びやすい				

第2回市民検討協議会 テーマ：府中市の改善すべきところ

意見		提言書		基本計画	
		項目	内容	項目	内容
20	市長室や政策部門は市民の目が届く場所に配置し、市民との交流を図れるようにする(他1件)	3.1.(2)	市民と職員の交流が少ない	4(9)ア	執務室は各部署間に間仕切りを設けずオープンな空間とします
21	公共施設の管理運営に税金をかけすぎている(他2件)	3.1.(2)	公共施設の運営に税金をかけすぎている	4(11)	市民との協働によるまちの実現に向けて有効に機能する計画とします
22	駅や神社、市役所等が市内の中心に集中してしまい、他の地域の人々はあまり市に関心を持たない	3.2.(2)	自治会やボランティア、民生委員が集まる際に利用できる会議室や談話室	4(7)ウ	維持管理のすぐれた建築構造と材料を採用するとともに、将来を見据えた設備の老朽化や機能更新に対応しやすい設計とします
23	高齢者の居場所が少ない	3.2.(2)	自治会やボランティア、民生委員が集まる際に利用できる会議室や談話室	4(12)イ	自治会やボランティア団体などの市民が利用可能なスペースを設置し、市民同士の交流が図りやすい環境を整備します
24	緑は多いが排気ガス等の汚染が気になる	3.7.(3)	太陽光パネルの採用などを検討し、環境に配慮した計画とする	4(12)	自治会やボランティア団体などの市民が利用可能なスペースを設置し、市民同士の交流が図りやすい環境を整備します
25	小・中・高生が行政と関わる仕組みをつくるべき	3.2.	市内に多数ある企業・学校との産官学の連携を図るなど、府中らしさを生かしたスペースの使い方を検討する必要があります	4(7)ア	庁舎は規模が大きく周辺環境はもとより、地球温暖化への影響も大きいことを踏まえ、省エネルギー技術や再生可能エネルギーなどを採用した環境負荷低減に配慮した計画とします
26	市民に分かりやすい情報公開がされていない	3.4.(3)	府中に住みたいと思っている人に対し、必要な手続き内容、利用可能な施設等の府中の魅力を伝える情報を発信する	4(12)イ	市内の企業や学校など産官学の連携による協働を支える場を計画します
27	旧町名が変更となり残念	3.1.(2)	旧町名を残してほしい	4(12)ア	誰もがどのようなときでも必要な情報を入手できるように、市政に関する資料やパンフレット等を集約して配置する情報コーナーを設置します
28	学校などの時間外使用ができない	3.1.(2)	学校などの時間外利用ができない		
29	市役所の近くに商業施設の建設	3.1.(2)	市役所近くに商業施設があれば賑わいが生まれる		
30	発掘された遺跡が活かされていない	3.1.(2)	発掘された遺跡が活かされていない		
31	けやき並木の歩車分離が良くない	3.1.(2)	けやき並木の歩車分離が良くない		
32	市内の人口数にしては商業の売上が低い				庁舎建設を進めるうえで今後の参考にいたします
33	マンションが多い				
34	交通網や店舗など、生活不便地域がある				
35	文化センター利用者が多く狭く感じる				
36	保育園の待機児童が多い				

第3回市民検討協議会 テーマ：議場について

意見		提言書		基本計画	
		項目	内容	項目	内容
37	議員、執行部とも顔が見える位置に傍聴席を配置し、開かれた議場が良い(他9件)	3.5	議員や執行部の顔が見える傍聴席の配置とする	4(5)イ	議員や執行部の顔が見える位置に傍聴席を設置するなど、市民が議会を身近に感じられる、市民に開かれた計画とします
38	小中高生達の模擬議会や審議会等の開催が可能なものとする(他2件)	3.5	小中高生達の模擬議会や審議会、協議会などに対応できる議場とする	4(5)イ	市民参加の審議会や協議会などの会議にも利用が可能な有効活用が図れる計画とします
39	結婚式やコンサートなどに使用できるホール機能を持たせる(他2件)	3.5	結婚式、コンサートなどにも使うことができる議場とする	4(5)イ	市民参加の審議会や協議会などの会議にも利用が可能な有効活用が図れる計画とします
40	多目的な利用が可能な議場とする(他2件)	3.5	多目的な利用が可能な議場とするほか、議員や執行部の顔が見える市民に開かれた議場とすることを望みます。	4(5)イ	市民参加の審議会や協議会などの会議にも利用が可能な有効活用が図れる計画とします
41	議場内にカメラを設置し、インターネット等により傍聴が可能とする(他2件)	3.5	カメラを設置し、ネット等で広く配信する	4(5)イ	議員や執行部の顔が見える位置に傍聴席を設置するなど、市民が議会を身近に感じられる、市民に開かれた計画とします
42	特別な仕様にせず質素な仕上げとする(他1件)	3.5	多目的な利用が可能な議場とするほか、議員や執行部の顔が見える市民に開かれた議場とすることを望みます。	4(5)イ	議員や執行部の顔が見える位置に傍聴席を設置するなど、市民が議会を身近に感じられる、市民に開かれた計画とします
43	議場は上層階に配置し、低層階には総合窓口など市民が訪れる部署を優先する	3.4.(3)	福祉、子育てに関する窓口を低層階へ配置する	4(13)ア	庁内で実施した部署配置に係る関連性調査の結果を踏まえ、関連性の深い部署をできる限り近くに配置するなど、来庁者の利便性や事務効率の向上等を考慮した計画とします
44	議員の意見を取り入れる			2(2)	新庁舎建設基本計画の検討体制
45	傍聴席の出入口を2か所設けるなど、議会エリア全体の導線に配慮する	3.5	多目的な利用が可能な議場とするほか、議員や執行部の顔が見える市民に開かれた議場とすることを望みます。	4(5)イ	全体をバリアフリー化し、市民にやさしい議場となるよう計画します

第3回市民検討協議会 テーマ：「歴史・伝統・文化」を発展させるための庁舎におけるフリースペースの活用方法について

意見	提言書		基本計画	
	項目	内容	項目	内容
46 市内の企業や学校との協働が図られるスペース(他5件)	3.2	市内に多数ある企業・学校との産官学の連携を図るなど、府中らしさを生かしたスペースの使い方を検討する必要がある	4(12)イ	市内の企業や学校など、産官学の連携による協働を支える場を計画します
47 市内の歴史、伝統、文化を紹介するスペース(他5件)	3.2.(1)	・市の歴史に関係する展示 ・お囃子やくらやみ祭のPR	4(12)ウ	市外から訪れた人に本市への関心を深めてもらえる機会を提供するため、府中らしさに触れることができる、本市の歴史や文化、自然を紹介するコーナーを設置します
48 府中の特産品などを紹介する(他4件)	3.4.(3)	コンビニなどの売店を設置し、府中産の農産物や福祉団体が扱う品物を販売する	4(12)ウ	府中の特産品の紹介や販売が可能なコーナーを計画します
49 くらやみ祭や府中囃子のPRスペース(他2件)	3.2.(1)	お囃子やくらやみ祭りのPR	4(12)ウ	市外から訪れた人に本市への関心を深めてもらえる機会を提供するため、府中らしさに触れることができる、本市の歴史や文化、自然を紹介するコーナーを設置します
50 東芝やサントリーのラグビーチームなどを紹介するスペースの設置(他1件)	3.2.(1)	東芝やサントリーのラグビーチームの紹介	4(12)ア	誰もがどのようなときでも必要な情報を入手できるよう、市政に関する資料やパンフレット等を集約して配置する情報コーナーを設置します
51 競馬に関する展示スペース	3.2.(1)	競馬に関する展示	4(12)ア	誰もがどのようなときでも必要な情報を入手できるよう、市政に関する資料やパンフレット等を集約して配置する情報コーナーを設置します
52 リサイクルフリーマーケットの開催	3.2.(1)	フリーマーケットの開催	4(5)ア	休日などに利用が可能な、市内外の人が集う場を提供します
53 くらやみ祭で一同に集まれるスペース	3.2.(1)	くらやみ祭りを観覧できる場の設置	4(5)ア	休日などに利用が可能な、市内外の人が集う場を提供します
54 庁舎内に大きいフリースペースは不要(他4件)	3.2.(3)	展示会場やホールなどの機能は必要ない	4(11)	府中駅南口再開発(第一地区)で計画されている「市民活動の拠点」との役割分担を明確にした上で、市民との協働による「みんなで創る笑顔あふれる住みよいまち」の実現に向けて、有効に機能する計画とします
55 府中市の歴史、伝統、文化の発信は他の施設でも行われているので庁舎には必要ない(他4件)	3.7.(2)	社会状況の変化に対応するため、老朽化や低利用率の施設等の機能更新や統廃合を行い、一部機能を新庁舎に併設する	4(12)ウ	市外から訪れた人に本市への関心を深めてもらえる機会を提供するため、府中らしさに触れることができる、本市の歴史や文化、自然を紹介するコーナーを設置します
56 崖線や用水の雰囲気を出すために水を使ったコーナーを設ける(他2件)	3.7.(3)	シンプルで緑と調和する建物とする	4(12)ウ	市外から訪れた人に本市への関心を深めてもらえる機会を提供するため、府中らしさに触れることができる、本市の歴史や文化、自然を紹介するコーナーを設置します

57	市民行事を活性化させることが可能なスペース(他1件)	3.2.(2)	自治会やボランティア、民生委員が集まる際に利用できる会議室や談話室	4(12)イ	自治会やボランティア団体などの市民が利用可能なスペースを設置し、市民同士の交流が図りやすい環境を整備します
58	災害時に活用可能なスペースにする(他1件)	3.2.(2)	災害時の情報発信拠点	4(6)イ	災害時に救護活動や地域の状況に即した情報発信が可能な場所に転用できるスペース及び機能を確保した計画とします
59	高齢者が休憩できるスペースがほしい	3.4.(3)	情報交換、待合場所として、カフェを設置する	4(12)イ	市民が気軽に情報交換や交流を行える場となる、レストランやカフェなどの設置を検討します

第3回市民検討協議会 テーマ：市民活動における市民と行政との関係をより良くするための庁舎の役割について

意見	提言書		基本計画	
	項目	内容	項目	内容
60 町内にマンション等が増えていて自治会の状況に変化が見える。自治会同志で相談出来るスペースがあると良い(他1件)	3.2.(2)	自治会やボランティア、民生委員が集まる際に利用できる会議室や談話室	4(12)イ	自治会やボランティア団体などの市民が利用可能なスペースを設置し、市民同士の交流が図りやすい環境を整備します
61 長岡市庁舎の議場のように、市民に開かれた議会とする(他1件)	3.5	議員や執行部の顔が見える傍聴席の配置とする	4(5)イ	議員や執行部の顔が見える位置に傍聴席を設置するなど、市民が議会を身近に感じられる、市民に開かれた計画とします
62 新庁舎では従来より維持保全コストを2～3割減らす役割を持ってほしい	3.7.(1)	維持保全にかかる費用とメンテナンスの手間を低減する計画とする	4(7)ウ	維持管理のすぐれた建築構造と材料を採用するとともに、将来を見据えた設備の老朽化や機能更新に対応しやすい設計とします
63 市役所は高齢者の利用が多く、若者が少ないため若者に市役所のアピールをしてほしい	3.2.(2)	若者へ市役所の役割をPRする機会	4(12)ア	誰もがどのようなときでも必要な情報を入手できるよう、市政に関する資料やパンフレット等を集約して配置する情報コーナーを設置します
64 災害時の情報発信拠点基地の役割	3.2.(2)	災害時の情報発信拠点	4(6)イ	災害対策本部を機能させるために必要な情報受発信設備などの資機材を整備し、消防本部等との連携などの災害対策活動に備える計画とします
65 高齢者と子育て世代に関係する部署を低層階へ配置	3.4.(3)	福祉、子育てに関する窓口を低層階へ配置する	4(4)ア	関連する課をワンフロアに集約した、開放的なワンフロアサービスの採用を検討します
66 行政も観光に力を入れてほしい	3.2.(2)	観光PRの機会	4(12)ウ	市外から訪れた人に本市への関心を深めてもらえる機会を提供するため、府中らしさに触れることができる、本市の歴史や文化、自然を紹介するコーナーを設置します
67 市長や市職員との交流の機会を増やす	3.2.(2)	市長・市職員との交流の機会	4(11)	府中駅南口再開発(第一地区)で計画されている「市民活動の拠点」との役割分担を明確にした上で、市民との協働による「みんなで創る笑顔あふれる住みよいまち」の実現に向けて、有効に機能する計画とします
68 カフェテラスやレストランで障害を持つ方と共に働くことが出来る空間	3.2.(2)	障がい者が働けるカフェやレストラン	4(12)イ	福祉作業所で製造した製品を販売する場を提供するなど、障害者の就労を支援できる計画とします
69 自治体と自治体をつなぐ中心拠点としての府中を目指してほしい	3.2.(2)	三多摩地域の拠点となる場の提供	4(12)ア	他市の市政に関する情報を収集し、多摩地域の情報も発信します
70 庁舎内全体をフレキシブルに使える造りとして災害時に備える	3.2.(2)	通常時に利用しているスペースを、災害時にはマンホールをトイレとして使用するなど、機能を転換して対応できるフレキシブルな庁舎	4(6)イ	災害時に救護活動や地域の状況に即した情報発信が可能な場所に転用できるスペース及び機能を確保した計画とします
71 コンビニを誘致して、使用料を取れば良いのではないか	3.4.(3)	食堂や売店から収入を得られる仕組みをつくる	5(2)	新庁舎におけるレストラン、売店、駐車場など、民間のノウハウを活用することが可能な施設等については、更なる市民サービスの向上を図るとともに、市の収入確保が可能な仕組みを検討します

72	市民の声を広く聴き入れてくれる体制作り	2.1.	新庁舎が担う役割のひとつとして、市と市民や自治体相互の関係を良くする「場の提供」、府中の観光PR、市職員や市長との交流を図るなどのあらゆる「機会の提供」であると言えます	4(4)イ	各課の利用状況に即した相談窓口数を確保するなど、市民が快適に利用できる計画とします
73	庁内で歩行者と相談者の動線が重ならないような構造	3.4.(2)	プライバシーに配慮し、相談内容に応じて使い分けられる場所を設置する	4(4)イ	仕切りのあるカウンターや相談室を設けるなど、来庁者のプライバシーに配慮した計画とします
74	行政情報の公開を可能な限りオープンにしてほしい	3.4.(3)	府中に住みたいと思っている人に対し、必要な手続き内容、利用可能な施設等の府中の魅力を伝える情報を発信する	4(12)ア	誰もがどのようなときでも必要な情報を入手できるよう、市政に関する資料やパンフレット等を集約して配置する情報コーナーを設置します
75	1階フロアに手続き関係部署を集約してほしい	3.4.(3)	福祉、子育てに関する窓口を低層階へ配置する	4(4)ア	関連する課をワンフロアに集約した、開放的なワンフロアサービスの採用を検討します
76	職員がしっかり仕事できる環境を作り、より良い市政運営を目指す	3.2.(3)	職員が働きやすい環境をつくる	4(9)ア	執務空間は各部署間に間仕切りを設けずオープンな空間とし、適切な文書管理により家具の高さを抑えた視界が通る計画とすることで、職員相互のコミュニケーションを図りやすくします。また、組織改正など、職員の異動にも柔軟に対応できる仕組みとします
77	市内には他の施設にホールがあるので庁舎内にはいらな	3.2.(3)	展示会場やホールなどの機能は必要ない	4(11)	府中駅南口再開発(第一地区)で計画されている「市民活動の拠点」との役割分担を明確にした上で、市民との協働による「みんなで創る笑顔あふれる住みよいまち」の実現に向けて、有効に機能する計画とします
78	本庁舎は執務室や窓口などの行政機能に特化すべき	3.2.(3)	展示会場やホールなどの機能は必要ない	1(3)イ(ウ)	高度情報化社会の進展に即した質の高い市民サービスの提供と効率的な行政事務の実現を目指します

第4回市民検討協議会 テーマ：現庁舎について利用者の目線で気づくことや感じる事

意見	提言書		基本計画	
	項目	内容	項目	内容
79 現在の庁舎では、執務室内の書類等に対するセキュリティが甘い。机の上に放置された状態では地震時に散乱する恐れがある(他3件)	3.8.	執務室、廊下、トイレなど、エリアごとにセキュリティ計画を立てる	4(9)エ	平日のほか、休日開放時等にもセキュリティに十分配慮した運用を行うことができる、市民開放ゾーンと執務空間が区別された計画とします
80 通路や階段が狭く通行しにくい(他2件)	3.3.(3)	災害時のことも考え、通路や階段の幅を広めに確保する	4(8)	障害者や高齢者に配慮し、駐車場、駐輪場、バス停から庁舎内へのスムーズな動線を確保します。また、庁舎内及び庁舎外の段差の解消や滑りにくい床材の選定など、誰もが移動しやすい計画とします
81 スロープが急なため、ゆるやかな勾配のスロープや階段を設置してほしい(他2件)	3.6.(1)	ゆるやかな勾配の階段及びスロープを設置する	4(8)	障害者や高齢者に配慮し、駐車場、駐輪場、バス停から庁舎内へのスムーズな動線を確保します。また、庁舎内及び庁舎外の段差の解消や滑りにくい床材の選定など、誰もが移動しやすい計画とします
82 開庁日・開庁時間はできるだけ増やしてほしい(他2件)	3.2.(3)	年中無休で土日も開庁する	4(5)ア	夜間や休日利用の拡充を検討し、より多くの市民に利用される使いやすい庁舎となるよう計画します
83 気兼ねなく休憩できるスペースを広く取ってほしい(他1件)	3.4.(3)	情報交換、待合場所として、カフェを設置する	4(12)イ	市民が気軽に情報交換や交流を行える場となる、レストランやカフェなどの設置を検討します
84 駅前再開発の駐車場との連携を図り、駐車場システムを改善するなど市役所駐車場の有効利用を図る(他1件)	3.4.(3)	食堂や売店から収入を得られる仕組みをつくる	5(2)	新庁舎におけるレストラン、売店、駐車場など、民間のノウハウを活用することが可能な施設等については、更なる市民サービスの向上を図るとともに、市の収入確保が可能な仕組みを検討します
85 太陽エネルギーや雨水利用など自然エネルギーの活用を検討してほしい(他1件)	3.7.(3)	太陽光パネルの採用などを検討し、環境に配慮した計画とする	4(7)ア	「官庁施設の環境保全性基準」を踏まえたグリーン庁舎としての建設を目指します
86 庁舎への出入りが無防備なため監視カメラを設置するなど、防犯対策を施す(他1件)	3.8	夜間、休日の入館者に対するチェック機能を強化する	4(9)エ	庁舎の出入口付近や庁舎内の適切な場所に防犯カメラを設置するなど、防犯機能に優れた庁舎とします
87 免震構造の庁舎とし、災害時の情報発信拠点にする	3.3.(1)	免震構造の庁舎	4(6)ア	新庁舎の整備に当たっては、免震構造の採用を検討し、大地震発生時の建物の設備や機能の被害を最小限に抑えることにより、防災・災害復興拠点としての機能を維持できる計画とします
88 エレベーターが狭く車いすやベビーカーを利用する方にとって不便	3.6	誰もが使いやすい施設となるよう配慮する事を望みます	4(8)	障害者や高齢者に配慮し、駐車場、駐輪場、バス停から庁舎内へのスムーズな動線を確保します。また、庁舎内及び庁舎外の段差の解消や滑りにくい床材の選定など、誰もが移動しやすい計画とします

89	駐車場から車椅子のアクセスが悪すぎる	3.6.(1)	公共交通機関を利用して来庁する人のアプローチに配慮する	4(8)	障害者や高齢者に配慮し、駐車場、駐輪場、バス停から庁舎内へのスムーズな動線を確保します。また、庁舎内及び庁舎外の段差の解消や滑りにくい床材の選定など、誰もが移動しやすい計画とします
90	府中街道は交通量が多いので、常時駐車場入り口にガードマンを配置してほしい	3.7.(3)	敷地が府中街道に面しているため、渋滞が生じないような車両動線計画とする	4(15)ア(ウ)	周辺における交通渋滞や安全性に配慮した利用しやすい駐車場とすることも求められるため、設計段階において具体的な検討を行います
91	システムサーバーの設置場所はセキュリティや地震対策を取っているのか。また、データのバックアップは万全か	3.3	市民に対して正確な情報を迅速に発信するためのバックアップサーバーや電源確保を確実に行うことが必要	4(6)イ	システムサーバー室は、高度なセキュリティシステムを採用するとともに、庁舎外にバックアップを確保し、非常事態に対応できる計画とします
92	非常時の停電に備えてトイレ機能は手動で行えるものにする(多目的トイレは別)	3.6.(3)	トイレの洗浄ボタンは手動、または自動がよい	4(8)	誰もがどのような時にも利用しやすく快適な庁舎とするため、「府中市ユニバーサルデザインの5つの視点」に基づいたユニバーサルデザインの実現を目指します
93	大國魂神社など、周辺の環境に配慮して低層階の庁舎にする	3.1.(3)	周辺にある良い思い出や地域に根差したものを受け継ぎ、愛着がわく親しみのある庁舎とする	4(12)ウ	大國魂神社やけやき並木の豊かな自然と調和した緑の整備を計画するとともに、京王線府中駅とJR府中本町駅のにぎわいをつなぐ拠点となるような外構計画や機能配置を計画します
94	駐車場や自転車駐車場が利用しにくい(他4件)	3.6.	現庁舎では、建物の老朽化や増築により生じた高齢者や障がい者にとって使いにくい箇所が見受けられます。新庁舎を計画する際には、それらを改善するとともに、誰もが使いやすい施設となるよう配慮する事を望みます	4(15)ア(ウ)	周辺における交通渋滞や安全性に配慮した利用しやすい駐車場とすることも求められるため、設計段階において具体的な検討を行います
95	トイレが汚い、暗い、入口がせまい(他3件)	3.6.	現庁舎では、建物の老朽化や増築により生じた高齢者や障がい者にとって使いにくい箇所が見受けられます。新庁舎を計画する際には、それらを改善するとともに、誰もが使いやすい施設となるよう配慮する事を望みます	4(8)	誰もがどのような時にも利用しやすく快適な庁舎とするため、「府中市ユニバーサルデザインの5つの視点」に基づいたユニバーサルデザインの実現を目指します
96	非常用電源を長時間使えるものにするなど、電源装置を充実させる(他2件)	3.3.	市民に対して正確な情報を迅速に発信するためのバックアップサーバーや電源確保を確実に行うことが必要	4(6)イ	ライフラインのバックアップ機能として、電源、飲料水などの備蓄、井戸水の活用、災害物資の保管が可能なスペースを確保など、ライフラインが途絶えた場合でも通常業務や災害支援活動の維持が可能な計画とします
97	庁舎全体が古く暗くて怖い(他1件)	3.6.	現庁舎では、建物の老朽化や増築により生じた高齢者や障がい者にとって使いにくい箇所が見受けられます。新庁舎を計画する際には、それらを改善するとともに、誰もが使いやすい施設となるよう配慮する事を望みます	1(3)ア	現庁舎の問題点や新庁舎の果たすべき役割を整理し、より良い市民サービスの提供と効率的な行政運営を目指します

98	新庁舎では職場の整理整頓や職員の身だしなみに気を配ってほしい(他1件)	3.2.(3)	職員が働きやすい環境をつくる	4(9)ア	執務空間は各部署間に間仕切りを設けずオープンな空間とし、適切な文書管理により家具の高さを抑えた視界が通る計画とすることで、職員相互のコミュニケーションを図りやすくします。また、組織改正など、職員の異動にも柔軟に対応できる仕組みとします
99	収納場所が少ないせいかロッカーの上にダンボールがいっぱい積まれている	3.2.(3)	職員が働きやすい環境をつくる	4(9)ア	執務空間は各部署間に間仕切りを設けずオープンな空間とし、適切な文書管理により家具の高さを抑えた視界が通る計画とすることで、職員相互のコミュニケーションを図りやすくします。また、組織改正など、職員の異動にも柔軟に対応できる仕組みとします
100	トイレが全体的に少ない	3.6.	現庁舎では、建物の老朽化や増築により生じた高齢者や障がい者にとって使いにくい箇所が見受けられます。新庁舎を計画する際には、それらを改善するとともに、誰もが使いやすい施設となるよう配慮する事を望みます	4(8)	各階に多目的トイレを配置します。また、その一部に子供用便器、ベビーベッド、成人用ベッド等の設置を計画します
101	府中本町駅と府中駅とを結んで庁舎内に斜めの通路を設置する	2.3.	計画地は、歴史ある市の中心部に位置し、府中駅と府中本町駅の賑わいをつなぐ場所となります。新庁舎は、市民と行政が日常的に集い市民協働、企画参画及び産官学連携を実行する場となり、まちづくりを推進するための拠点となることを望みます	4(3)ア	府中駅と府中本町駅から徒歩での利用が可能な利便性の高い立地をいかした、にぎわいをつなぐ庁舎を目指します
102	1階の談話室が味気なくただの空間になってしまっている	3.2.(2)	自治会やボランティア、民生委員が集まる際に利用できる会議室や談話室	4(12)イ	自治会やボランティア団体などの市民が利用可能なスペースを設置し、市民同士の交流が図りやすい環境を整備します
103	庁舎内案内看板が設置されたが分かりづらい	3.4.(1)	総合案内人(コンシェルジュ)を複数名配置したり、色を用いたり大きな文字で表記するなど、初めて来庁した人にも分かりやすいサインとする	4(4)ア	総合案内など、フロアを案内する職員の連携が取れた計画とします
104	売店の品物が少なく、内容に魅力がない	3.4.(3)	コンビニなどの売店を設置し、府中産の農産物や福祉団体が扱う品物を販売する	4(12)ウ	府中の特産品の紹介や販売が可能なコーナーの設置を計画します
105	食堂の開館時間が短い	3.4.(3)	食堂の営業時間を今より延長する	5(2)	新庁舎におけるレストラン、売店、駐車場など、民間のノウハウを活用することが可能な施設等については、更なる市民サービスの向上を図るとともに、市の収入確保が可能な仕組みを検討します
106	市民が利用できる給湯室や清潔な水飲み場がほしい	3.7.(3)	市民が利用できる給湯室や水飲み場(ウォータークーラー)を設置する	4(12)イ	自治会やボランティア団体などの市民が利用可能なスペースを設置し、市民同士の交流が図りやすい環境を整備します
107	窓口機能の部署を低層階に集めてエスカレーターで行き来できるようにしてほしい	3.4.(3)	福祉、子育てに関する窓口を低層階へ配置する	4(4)ア	関連する課をワンフロアに集約した、開放的なワンフロアサービスの採用を検討します

108	現在の庁舎は適正な空調管理がされていない	3.7.(3)	太陽光パネルの採用などを検討し、環境に配慮した計画とする。目指すCASBEEのランクについては、ライフサイクルバランスの関係を考慮した検討を行う	4(7)イ	自然通風や自然採光などの自然エネルギーを効率的に取り込みます
109	休日等にイベントを開催したり見本市を開くことが出来るスペースがほしい	3.2.(1)	伝統・文化を発展させるための庁舎におけるフリースペースの活用方法	4(12)イ	自治会やボランティア団体などの市民が利用可能なスペースを設置し、市民同士の交流が図りやすい環境を整備します
110	広報紙やテレビを活用して府中市をアピールする	3.2.(2)	観光PRの機会	4(12)ア	誰もがどのようなときでも必要な情報を入手できるように、市政に関する資料やパンフレット等を集約して配置する情報コーナーを設置します
111	タクシーで来庁する高齢者や障害者が円滑に庁舎へ入れるようなアプローチを検討する	3.6.(1)	公共交通機関を利用して来庁する人のアプローチに配慮する	4(8)	障害者や高齢者に配慮し、駐車場、駐輪場、バス停から庁舎内へのスムーズな動線を確保します。また、庁舎内及び庁舎外の段差の解消や滑りにくい床材の選定など、誰もが移動しやすい計画とします
112	木を市役所西側に植えて緑を増やす	2.2.	新庁舎が、歴史ある豊かなけやき並木や大國魂神社の自然環境等と調和し、府中の歴史や伝統、文化の特色を生かした計画、運用とすることで日々の市民の生活に溶け込む府中らしい個性ある庁舎になることを望みます	4(7)イ	周辺地域との緑のネットワークに配慮しながら、高木、低木、地被類を適宜配置し、緑の木陰がつくる微気候を庁舎に取り入れます
113	災害対策本部は本庁舎に置くべき	3.3.(1)	災害対策本部を庁舎に設置する	4(6)イ	災害時に迅速な対応を行うため、災害対策本部の設置が可能な整備を行います。なお、通常時には会議室などとして有効活用が図れる計画とします
114	エレベーターの数が少ない	3.6.	現庁舎では、建物の老朽化や増築により生じた高齢者や障がい者にとって使いにくい箇所が見受けられます。新庁舎を計画する際には、それらを改善するとともに、誰もが使いやすい施設となるよう配慮する事を望みます	4(8)	誰もがどのような時にも利用しやすく快適な庁舎とするため、「府中市ユニバーサルデザインの5つの視点」に基づいたユニバーサルデザインの実現を目指します
115	銀行があって便利			1(3)イ(ウ)	市民ニーズの多様化、高度化、地方分権の進展、少子高齢化による人口減少など、行政需要の変化に柔軟に対応できる施設とします

第4回市民検討協議会 テーマ：新庁舎においてユニバーサルデザインの配慮が必要だと感じること

意見	提言書		基本計画	
	項目	内容	項目	内容
116	3.4.(3)	福祉、子育てに関する窓口を低層階へ配置する	4(4)ア	関連する課をワンフロアに集約した、開放的なワンフロアサービスの採用を検討します
117	3.6.(2)	高齢者に配慮し、案内表示はわかりやすい日本語で表記する	4(8)	誰にとっても分かりやすい庁舎とするため、入口等への音声案内の設置や外国語や点字を併記した案内板の設置を計画します
118	3.6.(3)	広く明るい庁舎にする	4(8)	誰もがどのような時にも利用しやすく快適な庁舎とするため、「府中市ユニバーサルデザインの5つの視点」に基づいたユニバーサルデザインの実現を目指します
119	3.8	・夜間、休日の入館者に対するチェック機能を強化する ・執務室、廊下、トイレなど、エリアごとにセキュリティ計画を立てる	4(9)エ	平日のほか、休日開放時等にもセキュリティに十分配慮した運用を行うことができる、市民開放ゾーンと執務空間が区別された計画とします
120	3.6.(3)	トイレの洗浄ボタンは手動、または自動がよい	4(8)	誰もがどのような時にも利用しやすく快適な庁舎とするため、「府中市ユニバーサルデザインの5つの視点」に基づいたユニバーサルデザインの実現を目指します
121	3.2.(3)	年中無休で土日も開庁する	4(5)ア	夜間や休日利用の拡充を検討し、より多くの市民に利用される使いやすい庁舎となるよう計画します
122	3.6.(1)	凹凸の少ない点字ブロックを採用する	4(8)	障害者や高齢者に配慮し、駐車場、駐輪場、バス停から庁舎内へのスムーズな動線を確保します。また、庁舎内及び庁舎外の段差の解消や滑りにくい床材の選定など、誰もが移動しやすい計画とします
123	3.4.(3)	ペットが入館可能な庁舎とする	1(3)イ(7)	誰もが気軽に利用できる施設である事を基本に、市民が日常的に集い、憩い、ふれあい、学び、施策を創造できる場を提供します
124	3.6.(3)	障がい者専用の総合窓口を設置する	4(4)ア	必要に応じて、来庁者が座ったまま一連の手続を済ませることが可能な仕組みを検討します
125	3.2.(3)	災害時にFM放送を活用する	4(6)イ	災害時に救護活動や地域の状況に即した情報発信が可能な場所に転用できるスペース及び機能を確保した計画とします

126	駐輪場が少ない	3.6.(1)	駐輪場を増やす	4(15)イ	来庁者アンケートの結果において、庁舎へ訪れる手段の中で自転車が33.9%と最も多かったことから、現在の自転車駐車場台数と同程度の台数を確保する必要があるものと考えます
127	各フロアに休憩所がほしい	3.6.(3)	各フロアに休憩所を設置する	4(12)イ	市民が気軽に情報交換や交流を行える場となる、レストランやカフェなどの設置を検討します
128	エレベーターや階段は同じ場所など分かりやすい場所に設置してほしい(他1件)	3.6.	現庁舎では、建物の老朽化や増築により生じた高齢者や障がい者にとって使いにくい箇所が見受けられます。新庁舎を計画する際には、それらを改善するとともに、誰もが使いやすい施設となるよう配慮する事を望みます	4(8)	誰もがどのような時にも利用しやすく快適な庁舎とするため、「府中市ユニバーサルデザインの5つの視点」に基づいたユニバーサルデザインの実現を目指します
129	スロープの手すりは、四季を通して握りやすい温度になるような造りにする	3.6.	現庁舎では、建物の老朽化や増築により生じた高齢者や障がい者にとって使いにくい箇所が見受けられます。新庁舎を計画する際には、それらを改善するとともに、誰もが使いやすい施設となるよう配慮する事を望みます	4(8)	誰もがどのような時にも利用しやすく快適な庁舎とするため、「府中市ユニバーサルデザインの5つの視点」に基づいたユニバーサルデザインの実現を目指します
130	敷地の四方に道路があるので建物の四方に出入口を設置する	3.6.	現庁舎では、建物の老朽化や増築により生じた高齢者や障がい者にとって使いにくい箇所が見受けられます。新庁舎を計画する際には、それらを改善するとともに、誰もが使いやすい施設となるよう配慮する事を望みます	4(8)	誰もがどのような時にも利用しやすく快適な庁舎とするため、「府中市ユニバーサルデザインの5つの視点」に基づいたユニバーサルデザインの実現を目指します
131	トイレの配置を全フロア同位置にする	3.6.	現庁舎では、建物の老朽化や増築により生じた高齢者や障がい者にとって使いにくい箇所が見受けられます。新庁舎を計画する際には、それらを改善するとともに、誰もが使いやすい施設となるよう配慮する事を望みます	4(8)	各階に多目的トイレを配置します。また、その一部に子供用便器、ベビーベッド、成人用ベッド等の設置を計画します
132	エレベーターが狭く、車いす利用者が余裕を持って使用できない	3.6.	現庁舎では、建物の老朽化や増築により生じた高齢者や障がい者にとって使いにくい箇所が見受けられます。新庁舎を計画する際には、それらを改善するとともに、誰もが使いやすい施設となるよう配慮する事を望みます	4(8)	誰もがどのような時にも利用しやすく快適な庁舎とするため、「府中市ユニバーサルデザインの5つの視点」に基づいたユニバーサルデザインの実現を目指します

133	公衆電話、ファックス、パソコンなどは同じスペースに配置してほしい	3.6.	現庁舎では、建物の老朽化や増築により生じた高齢者や障がい者にとって使いにくい箇所が見受けられます。新庁舎を計画する際には、それらを改善するとともに、誰もが使いやすい施設となるよう配慮する事を望みます	4(8)	誰もがどのような時にも利用しやすく快適な庁舎とするため、「府中市ユニバーサルデザインの5つの視点」に基づいたユニバーサルデザインの実現を目指します
134	総務や広報の部署は市民の目につくところに配置する	3.2.(2)	市長・市職員との交流の機会	4(9)ア	執務空間は各部署間に間仕切りを設けずオープンな空間とし、適切な文書管理により家具の高さを抑えた視界が通る計画とすることで、職員相互のコミュニケーションを図りやすくします。また、組織改正など、職員の異動にも柔軟に対応できる仕組みとします

第5回市民検討協議会 テーマ：東日本大震災の際に市民の目線で感じたこと

意見	提言書		基本計画	
	項目	内容	項目	内容
135	3.3.(4)	市民と職員とが合同で避難訓練を実施する	4(6)イ	災害時など、庁舎外に避難が必要なときに、市民や職員が円滑に避難できる避難経路を確保した計画とし、定期的に効果的な避難訓練を実施します
136	3.3.(2)	正確に把握できる情報を市民へ発信する仕組みづくり	4(6)イ	災害時に救護活動や地域の状況に即した情報発信が可能な場所に転用できるスペース及び機能を確保した計画とします
137	3.3.(2)	地域の状況に即した情報を発信する仕組みづくり	4(6)イ	災害時に救護活動や地域の状況に即した情報発信が可能な場所に転用できるスペース及び機能を確保した計画とします
138	3.3.(3)	庁舎内で被災した場合の避難場所、避難経路を明示する	4(6)イ	災害時など、庁舎外に避難が必要なときに、市民や職員が円滑に避難できる避難経路を確保した計画とし、定期的に効果的な避難訓練を実施します
139	3.3.(2)	正確に把握できる情報を市民へ発信する仕組みづくり	4(6)イ	災害時に救護活動や地域の状況に即した情報発信が可能な場所に転用できるスペース及び機能を確保した計画とします
140	3.3.(2)	地域の状況に即した情報を発信する仕組みづくり	4(6)イ	災害時に救護活動や地域の状況に即した情報発信が可能な場所に転用できるスペース及び機能を確保した計画とします
141	3.3.(2)	市全体の状況を迅速に把握できる仕組みづくり	1(3)イ(イ)	自立性を備えたライフラインの代替施設や備蓄倉庫を整備し、防災・災害復興拠点としての機能を発揮できる施設とします
142	3.2.(2)	災害時の情報発信拠点	4(6)イ	災害対策本部を機能させるために必要な情報受信設備などの資機材を整備し、消防本部等との連携などの災害対策活動に備える計画とします
143	3.2.(2)	災害時における連絡手段の確保(公衆電話、電子メールの対応)	4(12)ア	Wi-Fiの利用が可能なコーナーを設置し、来庁者がインターネットを快適に利用できる環境を提供するとともに、災害時には必要な情報を得られる仕組みを計画します
144	3.3.(2)	災害時における物資の提供場所	4(6)イ	ライフラインのバックアップ機能として、電源、飲料水などの備蓄、井戸水の活用、災害物資の保管が可能なスペースの確保など、ライフラインが途絶えた場合でも通常業務や災害支援活動の維持が可能な計画とします
145	3.3.(3)	庁舎内で被災した場合の避難場所、避難経路を明示する	4(6)イ	災害時など、庁舎外に避難が必要なときに、市民や職員が円滑に避難できる避難経路を確保した計画とし、定期的に効果的な避難訓練を実施します

146	高齢者が多い地区、高層マンション、戸建住宅が多い地区など市の職員は地域の特徴を知っておく必要がある	3.3.(2)	地域の状況に即した情報を発信する仕組みづくり	4(6)イ	災害時に救護活動や地域の状況に即した情報発信が可能な場所に転用できるスペース及び機能を確保した計画とします
147	現状に適合した事業継続計画(BCP)や地域防災計画を作成する必要がある	3.3.(1)	事業継続計画、地域防災計画に基づいた計画立案が必要	4(6)イ	ライフラインのバックアップ機能として、電源、飲料水などの備蓄、井戸水の活用、災害物資の保管が可能なスペースの確保など、ライフラインが途絶えた場合でも通常業務や災害支援活動の維持が可能な計画とします
148	ルミエール府中の図書館や会議室にいた利用者が、追い出される状態となって困った人が多かった	3.3.(2)	地震等の災害時に建物内の避難誘導が迅速に行われる仕組みづくり	4(6)イ	災害時など、庁舎外に避難が必要なときに、市民や職員が円滑に避難できる避難経路を確保した計画とし、定期的に効果的な避難訓練を実施します
149	携帯が通じないため公衆電話に長蛇の列ができた。公共施設には公衆電話が必要	3.2.(2)	災害時における連絡手段の確保(公衆電話、電子メールの対応)	4(12)ア	Wi-Fiの利用が可能なコーナーを設置し、来庁者がインターネットを快適に利用できる環境を提供するとともに、災害時には必要な情報を得られる仕組みを計画します
150	ライフラインが止まらないような工夫	3.3.(1)	事業継続計画、地域防災計画に基づいた計画立案が必要	4(6)イ	ライフラインのバックアップ機能として、電源、飲料水などの備蓄、井戸水の活用、災害物資の保管が可能なスペースの確保など、ライフラインが途絶えた場合でも通常業務や災害支援活動の維持が可能な計画とします
151	災害時に障害者が困ることのないような避難経路を設定する	3.3.(2)	地震等の災害時に建物内の避難誘導が迅速に行われる仕組みづくり	4(6)イ	災害時など、庁舎外に避難が必要なときに、市民や職員が円滑に避難できる避難経路を確保した計画とし、定期的に効果的な避難訓練を実施します
152	交通機関が麻痺した時の帰宅困難者の対応	3.2.(2)	通常時に利用しているスペースを災害時にはマンホールトイレとして使用するなど、機能を転換して対応できるフレキシブルな庁舎	4(6)イ	災害時に救護活動や地域の状況に即した情報発信が可能な場所に転用できるスペース及び機能を確保した計画とします
153	建築物の倒壊危機や火災危機を強く感じた	3.3.(1)	免震構造の庁舎	1(3)イ(イ)	十分な耐震性能を確保し、長期に渡って使い続けられる安全な施設とします
154	地震もこわいが津波はもっと怖いと思った	3.3.(2)	地域の状況に即した情報を発信する仕組みづくり	4(6)イ	災害時に救護活動や地域の状況に即した情報発信が可能な場所に転用できるスペース及び機能を確保した計画とします
155	震災当日は、世帯主がほとんど帰宅困難者となり日頃訓練していた防災組織が機能しなかった	3.3.(4)	防災意識の向上を図る	4(6)イ	災害対策本部を機能させるために必要な情報受発信設備などの資機材を整備し、消防本部等との連携などの災害対策活動に備える計画とします
156	救助体制が弱かったので大地震後はすぐに自衛隊に出動してほしい	3.3.(1)	事業継続計画、地域防災計画に基づいた計画立案が必要	4(6)イ	災害対策本部を機能させるために必要な情報受発信設備などの資機材を整備し、消防本部等との連携などの災害対策活動に備える計画とします
157	地震が発生した時に通学路のブロック塀が倒れて被害者がでないように生垣に変える				今後の参考にいたします
158	高圧線の下に避難場所を設置してはいけないと感じた				今後の参考にいたします

第5回市民検討協議会 テーマ：新しい庁舎において検討・改善すべきこと

意見	提言書		基本計画		
	項目	内容	項目	内容	
159	災害時において避難所の各文化センターと市役所が連絡を交わせるようにする(他5件)	3.3.(2)	地域の状況に即した情報を発信する仕組みづくり	4(6)イ	災害対策本部を機能させるために必要な情報受発信設備などの資機材を整備し、消防本部等との連携などの災害対策活動に備える計画とします
160	災害時には正確な情報を発信できるシステム作りが必要(他5件)	3.3.(2)	正確に把握できる情報を市民へ発信する仕組みづくり	4(6)イ	災害時に救護活動や地域の状況に即した情報発信が可能な場所に転用できるスペース及び機能を確保した計画とします
161	庁舎内の避難経路や市内の避難場所の案内を分かりやすくしておく必要がある(他5件)	3.3.(3)	庁舎内で被災した場合の避難場所、避難経路を明示する	4(6)イ	災害時など、庁舎外に避難が必要なときに、市民や職員が円滑に避難できる避難経路を確保した計画とし、定期的に効果的な避難訓練を実施します
162	新庁舎を中心として消防署、警察署や市民との合同避難訓練を実施する必要がある(他4件)	3.3.(4)	防災意識の向上を図る	4(6)イ	災害時など、庁舎外に避難が必要なときに、市民や職員が円滑に避難できる避難経路を確保した計画とし、定期的に効果的な避難訓練を実施します
163	非常用電源の確保、ヘリポートの必要性	3.3.(1)	事業継続計画、地域防災計画に基づいた計画立案が必要	4(6)イ	ライフラインのバックアップ機能として、電源、飲料水などの備蓄、井戸水の活用、災害物資の保管が可能なスペースの確保など、ライフラインが途絶えた場合でも通常業務や災害支援活動の維持が可能な計画とします
164	新庁舎では免震構造を採用する必要がある	3.3.(1)	免震構造の庁舎	4(6)ア	新庁舎の整備に当たっては、免震構造の採用を検討し、大地震発生時の建物の設備や機能の被害を最小限に抑えることにより、防災・災害復興拠点としての機能を維持できる計画とします
165	設備配管類も免震対応とし、災害時の情報通信手段を確保する	3.3.(1)	免震構造の庁舎	4(6)ア	新庁舎の整備に当たっては、免震構造の採用を検討し、大地震発生時の建物の設備や機能の被害を最小限に抑えることにより、防災・災害復興拠点としての機能を維持できる計画とします
166	災害時には市庁舎を情報発信拠点とする必要がある	3.2.(2)	災害時の情報発信拠点	4(6)イ	災害時に迅速な対応を行うため、災害対策本部の設置が可能な整備を行います。なお、通常時には会議室などとして有効活用を図れる計画とします
167	市民や職員における防災意識の向上を図るため庁舎内で災害に関する情報を発信する	3.3.(4)	防災意識の向上を図る	4(12)ア	誰もがどのようなときでも必要な情報を入手できるよう、市政に関する資料やパンフレット等を集約して配置する情報コーナーを設置します
168	災害時には市内の小中学校と連携を図る	3.3.(4)	小中学校との連携を図る	4(6)イ	災害対策本部を機能させるために必要な情報受発信設備などの資機材を整備し、消防本部等との連携などの災害対策活動に備える計画とします

169	災害時にはFM放送を活用すべき	3.2.(3)	災害時にFM放送を活用する	4(6)イ	災害時に救護活動や地域の状況に即した情報発信が可能な場所に転用できるスペース及び機能を確保した計画とします
170	災害発生時の対応などについて日頃から市民と行政が意見交換できる庁舎	2.3.	新庁舎は、市民と行政が日常的に集い市民協働、企業参画及び産官学連携を実行する場となり、まちづくりを推進するための拠点となることを望みます	4(11)	府中駅南口再開発(第一地区)で計画されている「市民活動の拠点」との役割分担を明確にした上で、市民との協働による「みんなで創る笑顔あふれる住みよいまち」の実現に向けて、有効に機能する計画とします
171	庁舎内に病室を確保できるようにする	3.3.(1)	災害時には庁舎内に簡易病室を設置する	4(6)イ	災害時に救護活動や地域の状況に即した情報発信が可能な場所に転用できるスペース及び機能を確保した計画とします
172	新庁舎に災害対策本部を設置すべき	3.3.(1)	災害対策本部を庁舎に設置する	4(6)イ	災害時に迅速な対応を行うため、災害対策本部の設置が可能な整備を行います。なお、通常時には会議室などとして有効活用が図れる計画とします
173	マンホールトイレを設置する	3.2.(2)	通常時に利用しているスペースを災害時にはマンホールトイレとして使用するなど、機能を転換して対応できるフレキシブルな庁舎	4(6)イ	ライフラインのバックアップ機能として、電源、飲料水などの備蓄、井戸水の活用、災害物資の保管が可能なスペースの確保など、ライフラインが途絶えた場合でも通常業務や災害支援活動の維持が可能な計画とします
174	自然光を取り入れて災害時の電気不足に備える	3.3.(1)	事業継続計画、地域防災計画に基づいた計画立案が必要	4(7)イ	自然通風や自然採光などの自然エネルギーを効率的に取り込みます
175	地震などの災害に対する市職員の意識改革の徹底をしてほしい	3.3.(4)	防災意識の向上を図る	4(6)イ	災害時など、庁舎外に避難が必要なときに、市民や職員が円滑に避難できる避難経路を確保した計画とし、定期的に効果的な避難訓練を実施します
176	災害時の地域拠点として文化センターや地域の企業を活用する(他2件)				庁舎建設を進めるうえで今後の参考にいたします
177	市内の防災倉庫などを定期的に点検する(他1件)				
178	現在市内に配置されている防災無線を定期的に点検し、動作確認する				
179	災害時における自転車の無料貸し出しは課題解消に向けた検討が必要				
180	避難勧告と避難指示の違いが分からない人が多い				

第6回市民検討協議会 テーマ：手続きが分かりやすい窓口にするために

意見	提言書		基本計画		
	項目	内容	項目	内容	
181	フロアを案内してくれる係員を分かりやすい場所に設置する(他7件)	3.4.(2)	総合案内に書類の記入や、手続きに必要な部署を案内するコンシェルジュを配置する	4(4)ア	総合案内など、フロアを案内する職員の連携が取れた計画とします
182	案内表示を色分けや業務内容を表記してわかりやすい工夫をする(他5件)	3.4.(1)	総合案内人(コンシェルジュ)を複数名配置したり、色を用いたり大きな文字で表記するなど、初めて来庁した人にも分かりやすいサインとする	4(8)	市民にとって手続きの順序が分かりやすい庁舎とするため、案内表示を手続きの名称で行うなど、誰もが分かりやすいサイン表記を計画します
183	庁内に設置する案内板の文字を大きくするなど分かりやすくする(他4件)	3.4.(1)	総合案内人(コンシェルジュ)を複数名配置したり、色を用いたり大きな文字で表記するなど、初めて来庁した人にも分かりやすいサインとする	4(8)	誰にとっても分かりやすい庁舎とするため、入口等への音声案内の設置や外国語や点字を併記した案内板の設置を計画します
184	障がい者や高齢者が利用可能な総合窓口など、ワンストップ窓口を設置する(他4件)	3.4.(1)	福祉(高齢者、障がい者など)、子育てに関する課は総合窓口が望ましい	4(4)ア	必要に応じて、来庁者が座ったまま一連の手続きを済ませることが可能な仕組みを検討します
185	関連する部署を同じフロアに配置して来庁者の移動が少なくなるような工夫をする(他3件)	3.4.	窓口の形態についても、可能な限り来庁者が移動しなくて済むような導線検討を行う事を望みます	4(4)ア	関連する課をワンフロアに集約した、開放的なワンフロアサービスの採用を検討します
186	整理券を発行し、待ち人数を把握できるシステムを導入する(他2件)	3.4.(1)	整理券を発行する	4(4)ア	関連する課をワンフロアに集約した、開放的なワンフロアサービスの採用を検討します
187	繁忙期のみ文化センターなどに機能を分散化させる(他2件)	3.1.(3)	市役所機能の一部を有している各文化センターを考慮して計画する	引き続き、現在の東西出張所の活用を図ります	
188	窓口の雰囲気素材や色に配慮して明るくする	3.6.(3)	広く明るい庁舎にする	4(4)ア	関連する課をワンフロアに集約した、開放的なワンフロアサービスの採用を検討します
189	病院などの民間施設も参考にして、待ち時間や待機スペースの工夫をする	3.4.(3)	情報コーナーの設置	4(4)ウ	来庁者数に対して十分な広さの待合スペースを確保します
190	業務の効率化を図るため職員の動線が確保できるフロアレイアウトにする	3.2.(3)	職員が働きやすい環境をつくる	4(9)ア	執務空間は各部署間に間仕切りを設けずオープンな空間とし、適切な文書管理により家具の高さを抑えた視界が通る計画とすることで、職員相互のコミュニケーションを図りやすくします。また、組織改正など、職員の異動にも柔軟に対応できる仕組みとします
191	窓口や記載台でハイカウンターとローカウンターを用途によって使い分ける	3.4.(2)	誰もが利用しやすいよう、カウンターの高さに配慮する	4(4)ア	証明書発行などの所要時間が短い窓口にはハイカウンター、手続き時に対話が必要となる所要時間の長い窓口にはローカウンターを設置するなど、各業務に応じたカウンターを実情に即した適切なバランスで配置します
192	受付業務のIT化を更に進める	3.4.	窓口の形態についても、可能な限り来庁者が移動しなくて済むような導線検討を行う事を望みます	4(4)ア	関連する課をワンフロアに集約した、開放的なワンフロアサービスの採用を検討します

第6回市民検討協議会 テーマ：身近な存在の窓口にするために

	意見	提言書		基本計画	
		項目	内容	項目	内容
193	個室の相談室を設置するなどプライバシーに配慮した環境を整備する(他6件)	3.4.(2)	プライバシーに配慮し、相談内容に応じて使い分けられる場所を設置する	4(4)イ	仕切りのあるカウンターや相談室を設けるなど、来庁者のプライバシーに配慮した計画とします
194	退職職員を再雇用するなど、手続きが必要な部署へ案内してくれる総合案内人が必要(他4件)	3.4.(2)	市役所職員の再雇用など、庁内の業務に精通している人材を活用する	4(4)ア	関連する課をワンフロアに集約した、開放的なワンフロアサービスの採用を検討します
195	アトリウム的な構造や植栽を置くなどして、窓口を開放的な空間にする(他1件)	3.4.(3)	植栽を配置したり、アトリウムを活用するなど開放的な空間とする	4(4)ア	関連する課をワンフロアに集約した、開放的なワンフロアサービスの採用を検討します
196	車椅子の方でも手続きができるローカウンターを採用する(他1件)	3.4.(2)	誰もが利用しやすいよう、カウンターの高さに配慮する	4(8)	誰もがどのような時にも利用しやすく快適な庁舎とするため、「府中市ユニバーサルデザインの5つの視点」に基づいたユニバーサルデザインの実現を目指します
197	案内板や各課の案内表示などを番号や色分けをして、視覚的に分かりやすくする	3.4.(1)	総合案内人(コンシェルジュ)を複数名配置したり、色を用いたり大きな文字で表記するなど、初めて来庁した人にも分かりやすいサインとする	4(8)	市民にとって手順の順序が分かりやすい庁舎とするため、案内表示を手順の名称で行うなど、誰もが分かりやすいサイン表記を計画します
198	フロア案内所に発券機を設置する	3.4.(1)	整理券を発行する	4(4)ア	関連する課をワンフロアに集約した、開放的なワンフロアサービスの採用を検討します
199	高齢者や幼児に関係する窓口を低層階へ配置する	3.4.(3)	福祉、子育てに関する窓口を低層階へ配置する	4(13)ア	庁内で実施した部署配置に係る関連性調査の結果を踏まえ、関連性の深い部署をできる限り近くに配置するなど、来庁者の利便性や事務効率の向上等を考慮した計画とします
200	窓口対応の職員に統一したユニフォームを着てもらするなど、見た目でも市民に分かりやすくする(他1件)	3.4.	新庁舎に初めて来た人や、高齢者、障がい者など誰にとっても分かりやすく利用しやすい施設とすることを望みます	4(4)ア	総合案内など、フロアを案内する職員の連携が取れた計画とします
201	ワンストップサービスの実現にはハード的側面よりも職員の資質を向上させるソフト的側面に課題がある(他1件)	3.4.	新庁舎に初めて来た人や、高齢者、障がい者など誰にとっても分かりやすく利用しやすい施設とすることを望みます	4(4)ア	関連する課をワンフロアに集約した、開放的なワンフロアサービスの採用を検討します
202	窓口カウンターの下に物が置ける棚を設置する	3.4.	新庁舎に初めて来た人や、高齢者、障がい者など誰にとっても分かりやすく利用しやすい施設とすることを望みます	4(4)イ	各課の利用状況に即した相談窓口数を確保するなど、市民が快適に利用できる計画とします
203	文化センターの機能を活用することで、効率の良い規模の庁舎にする(他1件)	3.1.(3)	市役所機能の一部を有している各文化センターを考慮して計画する	引き続き、現在の東西出張所の活用を図ります	
204	インターネットを活用した手続きの検討	3.7.(2)	社会状況の変化に対応出来るITネットワークの設計や、最大使用電源の想定に配慮した計画とする	今後の参考にいたします	

第6回市民検討協議会 テーマ：待ち時間も有効に過ごせる市庁舎

意見		提言書		基本計画	
		項目	内容	項目	内容
205	庁舎内にコンビニなどの売店やカフェを設置する(他7件)	3.4.(3)	情報交換、待合場所として、カフェを設置する	4(12)イ	市民が気軽に情報交換や交流を行える場となる、レストランやカフェなどの設置を検討します
206	市内で開催するイベントのパンフレットや資料、雑誌などを設置するスペース(他6件)	3.4.(3)	市内各地や市庁舎内で開催されるイベントのPR	4(12)ア	誰もがどのようなときでも必要な情報を入手できるよう、市政に関する資料やパンフレット等を集約して配置する情報コーナーを設置します
207	ふるさと府中歴史館の資料など、歴史、文化や観光に関する情報を発信するスペースを設ける(他4件)	3.4.(3)	観光協会、ふるさと府中歴史館の資料の配布および展示	4(12)ウ	市外から訪れた人に本市への関心を深めてもらえる機会を提供するため、府中らしさに触れることができる、本市の歴史や文化、自然を紹介するコーナーを設置します
208	子供連れの市民向けにキッズコーナーを設置する(他2件)	3.4.(3)	・親が手続きをしている間、子どもを怪我の心配なく遊ばせることができるキッズコーナーを設置する ・担当のスタッフの配置に関しては、検討が必要	4(4)エ	子育て世代と関係の深い部署があるフロアにキッズスペースや授乳室を設置します
209	市の課題や懸案が市民にも伝わるような情報発信スペースを確保する	3.4.(3)	市の課題や行事の映像を流す	4(12)ア	誰もがどのようなときでも必要な情報を入手できるよう、市政に関する資料やパンフレット等を集約して配置する情報コーナーを設置します
210	市内企業商品の試飲や試食コーナーを設置する	3.4.(3)	市内企業が製造した商品の試飲、試食コーナーを設置する	4(12)イ	市内の企業や学校など、産官学の連携による協働を支える場を計画します
211	混雑状況を把握できる仕組みを作り、効率的な職員対応を行う(他1件)	3.4.	新庁舎に初めて来た人や、高齢者、障がい者など誰にとっても分かりやすく利用しやすい施設とすることを望みます	4(4)ア	関連する課をワンフロアに集約した、開放的なワンフロアサービスの採用を検討します
212	庁舎で用事を済ませるときは、それほど待ち時間はなく調度良い(他1件)	3.2.(3)	来庁者の手続き時間を短くする	4(4)ア	関連する課をワンフロアに集約した、開放的なワンフロアサービスの採用を検討します
213	各種手続き方法などの行政関連情報を映像を使用して発信する	3.4.(3)	市の課題や行事の映像を流す	4(12)ア	誰もがどのようなときでも必要な情報を入手できるよう、市政に関する資料やパンフレット等を集約して配置する情報コーナーを設置します
214	待合場所にディスプレイを設置して、広告料収入を得る	3.4.(3)	食堂や売店から収入を得られる仕組みをつくる	5(2)	新庁舎におけるレストラン、売店、駐車場など、民間のノウハウを活用することが可能な施設等については、更なる市民サービスの向上を図るとともに、市の収入確保が可能な仕組みを検討します
215	事前に相談時間が予約可能な仕組みとし、待ち時間の短縮を図る	3.2.(3)	来庁者の手続き時間を短くする	4(4)ア	関連する課をワンフロアに集約した、開放的なワンフロアサービスの採用を検討します

216	ふかふかなソファは腰痛になるため設置しない方が良い	3.6.	現庁舎では、建物の老朽化や増築により生じた高齢者や障がい者にとって使いにくい箇所が見受けられます。新庁舎を計画する際には、それらを改善するとともに、誰もが使いやすい施設となるよう配慮する事を望みます	4(8)	誰もがどのような時にも利用しやすく快適な庁舎とするため、「府中市ユニバーサルデザインの5つの視点」に基づいたユニバーサルデザインの実現を目指します
217	市議会の中継が見られる待合室の設置	3.5.	カメラを設置し、ネット等で広く配信する	4(5)イ	議員や執行部の顔が見える位置に傍聴席を設置するなど、市民が議会を身近に感じられる、市民に開かれた計画とします
218	多くの公共施設があるので何でも本庁舎に設置する必要はない	3.2.(3)	展示会場やホールなどの機能は必要ない	4(3)イ	府中駅南口再開発(第一地区)で計画されている「市民活動の拠点」との機能を区別し、新庁舎が相互の関係をつなげることで活発な市民活動を促すことを目指します
219	タバコを吸う人のために喫煙コーナーの設置				設計作業を進める上で適切な場所での設置を検討します

第7回市民検討協議会 テーマ：今までのテーマで言い残したことなど自由意見

意見	提言書		基本計画		
	項目	内容	項目	内容	
220	府中街道から庁舎に出入りする車の渋滞を懸念している。スムーズに駐車ができるなど渋滞に配慮した造りにしてほしい(他1件)	3.7.(3)	敷地が府中街道に面しているため、渋滞が生じないような車両動線計画とする	4(15)ア(ウ)	周辺における交通渋滞や安全性に配慮した利用しやすい駐車場とすることも求められるため、設計段階において具体的な検討を行います
221	今後地方自治体の役割が拡大することが想定されるため、すぐに増築が必要となることのないような余裕を持った新庁舎にほしい	3.7.(2)	民間委託、行政の役割拡大、人口増加傾向を想定し、ある程度スペースに余裕をもった計画とする	4(7)ウ	階高、床面積、床荷重等の機能的なゆとりを確保し、想定が難しい将来の行政ニーズ等に対応が可能な設計とします
222	今後もIT化は更に進み、ネットワークも有線から無線へという流れもあり得る。配線に左右されない効率的な執務室やシステム運営に必要な電気容量を確保するなどの検討をしてほしい	3.7.(2)	社会状況の変化に対応出来るITネットワークの設計や、最大使用電源の想定に配慮した計画とする	4(10)ア	組織改正やIT化にも容易に対応が可能な統一されたレイアウトの執務空間とします
223	新庁舎を建設することにより自治会構成員がこの場所から去ることになり、文化や伝統を守る人が減るのではないか。新庁舎に自治会構成員を活性化できるような施設を配置してほしい	3.2.	計画地に隣接する大國魂神社は府中市が誕生する前から存在するなど、この街には守るべきものがあります。庁舎の中にそれらを活性化させる施設を配置し、新たなコミュニティを増やす動きが生まれることを望みます	4(12)イ	自治会やボランティア団体などの市民が利用可能なスペースを設置し、市民同士の交流が図りやすい環境を整備します
224	女性の視点から、新庁舎にはキッズルームの設置や子供向けのイベントを開催するなど、子供が小さい頃から市役所へ良く行くような環境が整っていれば、その子が親になった時も次の世代へ続いていくと思う	3.2.(2)	市民にとって身近な施設となるよう、子どもを対象としたイベントの開催	4(4)エ	子育て世代と関係の深い部署があるフロアにキッズスペースや授乳室を設置します
225	母親にとっても気軽に相談できるコミュニティスペースがあると良い	3.4.(3)	母親が気軽に相談できるコミュニティスペースを設置する	4(12)イ	市民が気軽に情報交換や交流を行える場となる、レストランやカフェなどの設置を検討します
226	現在の市役所周辺は幼い頃の思い出が多く残っている。府中市の良いところを残して良い庁舎を建設してほしい	3.1.(3)	周辺にある良い思い出や地域に根差したものを受け継ぎ、愛着がわく親しみのある庁舎とする	4(3)エ	京王線府中駅前から計画地に隣接する大國魂神社まで続く歴史ある豊かなけやき並木の景観に配慮するとともに、けやき並木の緑をいかした計画とし、府中市のシンボルとなる新庁舎を目指します
227	ボランティアや民生委員、自治会などが打合せできるスペースを確保してほしい	3.2.(2)	自治会やボランティア、民生委員が集まる際に利用できる会議室や談話室	4(12)イ	自治会やボランティア団体などの市民が利用可能なスペースを設置し、市民同士の交流が図りやすい環境を整備します
228	栈敷席を設けるなど、新庁舎の中からくらやみ祭りを観覧できる造りにしたらどうか	3.2.(1)	くらやみ祭りを観覧できる場の設置	4(3)ウ	庁舎内に歴史情報コーナーを設置するなど、市民の生活に溶け込む府中らしい個性ある新庁舎を目指します
229	新庁舎建設の計画段階から老朽化した場合の設備更新を視野に入れた設計にすべきである	3.7.(1)	計画の初期段階から、更新しやすい設備の導入を検討する	4(7)ウ	維持管理の優れた建築構造と材料を採用するとともに、将来を見据えた設備の老朽化や機能更新に対応しやすい設計とします

230	府中市外の方など、府中に住みたいと思っている方に対して市に関する多くの情報を発信するコーナーを設置してほしい	3.4.(3)	府中に住みたいと思っている人に対し、必要な手続き内容、利用可能な施設等の府中の魅力を伝える情報を発信する	4(12)ア	誰もがどのようなときでも必要な情報を入手できるよう、市政に関する資料やパンフレット等を集約して配置する情報コーナーを設置します
231	新庁舎には多少コストがかかっても免震構造を採用し、地震などの災害時には持ちこたえられるような建物にすべきである	3.3.(1)	免震構造の庁舎	4(6)ア	新庁舎の整備に当たっては、免震構造の採用を検討し、大地震発生時の建物の設備や機能の被害を最小限に抑えることにより、防災・災害復興拠点としての機能を維持できる計画とします
232	駅前再開発と新庁舎建設との整合性を図り、それぞれの建物の役割を明確に分ける必要がある	3.2.	市民活動の拠点として計画が進められている府中駅前の再開発(A地区)と新庁舎との役割を考慮しつつ、相互の関係を繋げ、より活発な活動を促すことを望みます	4(11)	府中駅南口再開発(第一地区)で計画されている「市民活動の拠点」との役割分担を明確にした上で、市民との協働による「みんなで創る笑顔あふれる住みよいまち」の実現に向けて、有効に機能する計画とします
233	初めて来庁した方でもすぐに目的場所に行けるよう、表示などの工夫をしてほしい	3.4.(1)	総合案内人(コンシェルジュ)を複数名配置したり、色を用いたり大きな文字で表記するなど、初めて来庁した人にも分かりやすいサインとする	4(8)	市民にとって手続きの順序が分かりやすい庁舎とするため、案内表示を手続きの名称で行うなど、誰もが分かりやすいサイン表記を計画します
234	将来の民間活力の活用を踏まえると職員数は減るが委託業者の従業員は増えるため、床面積に余裕を持たせた造りにする必要がある	3.7.(2)	民間委託、行政の役割拡大、人口増加傾向を想定し、ある程度スペースに余裕をもった計画とする	4(7)ウ	階高、床面積、床荷重等の機能的なゆとりを確保し、想定が難しい将来の行政ニーズ等に対応が可能な設計とします
235	食堂や売店を職員の福利厚生施設としてではなく来庁者や職員の利便施設と捉えて民間への貸出による収入を得る仕組みを検討する	3.4.(3)	食堂や売店から収入を得られる仕組みをつくる	5(2)	新庁舎におけるレストラン、売店、駐車場など、民間のノウハウを活用することが可能な施設等については、更なる市民サービスの向上を図るとともに、市の収入確保が可能な仕組みを検討します
236	府中市は武蔵の国であり千年も前に国府が置かれた重要な街であるため、その背景に見合った外観となるような造りにしてほしい	3.1.(3)	武蔵野の国の国府が置かれた歴史ある街とする	1(3)イ(エ)	大國魂神社やけやき並木を背後に控えた、歴史・文化的環境、自然環境に恵まれた地区に建設されるため、京王線府中駅とJR府中本町駅の周辺のにぎわいをつなぐ役目を果たす計画とします
237	府中市の公共建築物に対する維持保全は遅れているように思える。なるべく費用と手間のかからない設計にしてほしい	3.7.(1)	維持保全にかかる費用とメンテナンスの手間を低減する計画とする	4(7)ウ	維持管理の優れた建築構造と材料を採用するとともに、将来を見据えた設備の老朽化や機能更新に対応しやすい設計とします
238	行政は市民との協働を推進し、新庁舎を市民に開かれたものとするのが重要であり、そのためには必要なところに税金を使うべきだと思う	2.1.	新庁舎が担う役割のひとつとして、市と市民や自治体相互の関係を良くする「場の提供」、府中の観光PR、市職員や市長との交流を図るなどのあらゆる「機会の提供」であると言えます	1(3)イ(ア)	市民がもっと身近に日常的にサービスを利用できる施設とし、多彩な市民活動や市民交流を支えるための空間を提供します
239	先のことは予想しづらいと思うが、何十年先も活発な市民活動を支援できる庁舎、市政であってほしい	3.7.(2)	市民や企業の活発な活動を支える庁舎とする	4(11)	府中駅南口再開発(第一地区)で計画されている「市民活動の拠点」との役割分担を明確にした上で、市民との協働による「みんなで創る笑顔あふれる住みよいまち」の実現に向けて、有効に機能する計画とします
240	府中の良いところとして農業高校、農工大や東京外国語大学と連携した学習環境が挙げられる。学校との連携が取り組みやすい庁舎にほしい	3.2.	市内に多数ある企業・学校との産官学の連携を図るなど、府中らしさを生かしたスペースの使い方を検討する必要があります	4(12)イ	市内の企業や学校など、産官学の連携による協働を支える場を計画します

241	高齢化が進むにあたり、表示版など誰にでもわかりやすい表記にしてほしい	3.6.(2)	高齢者に配慮し、案内表示はわかりやすい日本語で表記する	4(8)	市民にとって手続の順序が分かりやすい庁舎とするため、案内表示を手続の名称で行うなど、誰もが分かりやすいサイン表記を計画します
242	キッズコーナーを設置する場合は、専門スタッフは配置せず責任者同伴のもと遊ばせる仕組みにした方がよい	3.4.(3)	担当のスタッフの配置に関しては、検討が必要	4(4)エ	子育て世代と関係の深い部署があるフロアにキッズスペースや授乳室を設置します
243	Wi-Fiの利用が可能なコーナーを設置する	3.4.(3)	Wi-Fiの利用が可能なコーナーを設ける	4(12)ア	Wi-Fiの利用が可能なコーナーを設置し、来庁者がインターネットを快適に利用できる環境を提供するとともに、災害時には必要な情報を得られる仕組みを計画します
244	関係者休憩室について、職員と臨時職員がうまく共有できる仕組みにする	3.2.(3)	職員が働きやすい環境をつくる	4(9)ウ	更衣室や職員用休養室は、職員数、男女比率などを考慮し、適切に設置します
245	将来的にメンテナンスしやすい構造にする	3.7.(1)	維持保全にかかる費用とメンテナンスの手間を低減する計画とする	4(7)ウ	維持管理の優れた建築構造と材料を採用するとともに、将来を見据えた設備の老朽化や機能更新に対応しやすい設計とします
246	奇をてらわないシンプルで緑と調和するような意匠の建物とする	3.7.(3)	シンプルで緑と調和する建物とする	1(3)イ(エ)	華美ではないが美観に優れ、府中のまちのシンボルとなるよう配慮した意匠とします
247	多摩産材の木材を利用したぬくもりのある内装にする	3.7.(3)	・多摩産材の木材を利用したぬくもりのある内装とする	4(7)イ	既存樹木や多摩産材など、親しみのある素材や年を経るごとに味わいの深まる素材などを用いつつ、スケルトンインフィルの考え方を徹底するなど、耐久性にも配慮した長く愛される長寿命建築を実現します
248	庁舎は市政や市民サービスを速やかに滞り無く行う場所であり、来庁した市民に不安や不快な思いを与えないようにする必要があります。職員執務室の環境改善は必要だがシャワー等過剰サービスは不要	3.2.(3)	展示会場やホールなどの機能は必要ない	4(9)ウ	職員の健康増進と円滑な職務遂行のため、適切な福利厚生施設を設置します
249	タクシーやバスなどの公共交通で来庁する人のアプローチに配慮してほしい	3.6.(1)	公共交通機関を利用して来庁する人のアプローチに配慮する	4(8)	障害者や高齢者に配慮し、駐車場、駐輪場、バス停から庁舎内へのスムーズな動線を確保します。また、庁舎内及び庁舎外の段差の解消や滑りにくい床材の選定など、誰もが移動しやすい計画とします
250	今後の地方自治体における役割の拡大や当面の人口増加傾向を想定し、スペース面に余裕をもった設計にして欲しい	3.7.(2)	民間委託、行政の役割拡大、人口増加傾向を想定し、ある程度スペースに余裕をもった計画とする	4(7)ウ	階高、床面積、床荷重等の機能的なゆとりを確保し、想定が難しい将来の行政ニーズ等に対応が可能な設計とします
251	無線LANの配備やフロアーをフレキシブルに活用するためのネットワーク設計、さらにそのための最大使用電源にも十分配慮するべき	3.7.(2)	社会状況の変化に対応出来るITネットワークの設計や、最大使用電源の想定に配慮した計画とする	4(10)ア	組織改正やIT化にも容易に対応が可能な統一されたレイアウトの執務空間とします
252	高齢化社会へ向け、駅と庁舎を結ぶシャトルバスなどアクセス性に配慮する	3.6.(1)	今後の高齢化社会に向けて、最寄り駅と市庁舎を結ぶシャトルバスを新設するなどアクセス面に配慮する	4(8)	障害者や高齢者に配慮し、駐車場、駐輪場、バス停から庁舎内へのスムーズな動線を確保します。また、庁舎内及び庁舎外の段差の解消や滑りにくい床材の選定など、誰もが移動しやすい計画とします

253	全庁的なセキュリティ管理など危機管理に対する意識を高めて欲しい	3.8.	・夜間、休日の入館者に対するチェック機能を強化する ・執務室、廊下、トイレなど、エリアごとにセキュリティ計画を立てる	4(9)エ	平日のほか、休日開放時等にもセキュリティに十分配慮した運用を行うことができる、市民開放ゾーンと執務空間が区分された計画とします
254	市民と職員から多くの意見が出されたので、市民と職員が互いに動きやすく、働きやすい、バランスのとれた庁舎にしてほしい	2.1.	新庁舎にあたっては、日常的にも災害時においても、誰にとっても使いやすい庁舎となるよう配慮することが重要と考えます	1(3)イ(ウ)	市民ニーズの多様化、高度化、地方分権の進展、少子高齢化による人口減少など、行政需要の変化に柔軟に対応できる施設とします
255	庁舎から離れて住む市民はバスや電車に乗って来なければならない。庁舎に近い人も遠い人も気持ちよく訪れることができるようにしてほしい	2.3.	新庁舎は、市民と行政が日常的に集い市民協働、企業参画及び産官学連携を実行する場となり、まちづくりを推進するための拠点となることを望みます	4(5)ア	夜間や休日利用の拡充を検討し、より多くの市民に利用される使いやすい庁舎となるよう計画します
256	年数が経過し、利用率の低い施設や他の用途へ転用が必要な施設、老朽化した施設がある。多くの施設が更新時期にきており、統廃合など利用状況を踏まえ適切に判断し、一部を新庁舎に併設するなど、市民が一層楽しく来やすく機能的で潤いある庁舎群にしてほしい	3.7.(2)	社会状況の変化に対応するため、老朽化や低利用率の施設等の機能更新や統廃合を行い、一部機能を新庁舎に併設する	4(12)イ	ふるさと府中歴史館内の展示機能や同館内にある宮町図書館の一部を新庁舎に移設するなど、市民が気軽に訪れることが可能な環境を整えます
257	現在建設中の東京都府中合同庁舎の説明会では東京都から近隣住民に対し、工期、工程、工法、作業時間などの詳細を説明すると聞いている。新庁舎建設の際にはそれらに加えて周辺に及ぼす影響や工事時の騒音、振動、粉塵等の説明をお願いしたい	3.7.(3)	建設工事の際には、近隣住民に対して十分な説明を行う	建設工事を進める際には近隣住民に対する十分な説明を行います	
258	本来、庁舎は自治体の業務を行うところであり、職員が仕事をしやすい環境を整備し、来庁者の手続きを速やかに終わらせることが大事である。そのためユニバーサルデザインに配慮することは必要だと思うが、イベントや展示会場、ホール、シャワー室などの機能は必要ない	3.2.(3)	展示会場やホールなどの機能は必要ない	4(9)イ	効率的な執務空間を目指します
259	今後、高齢者が増え活動人口が減少することを考慮すると大規模な庁舎は必要ない	3.2.(3)	展示会場やホールなどの機能は必要ない	1(5)イ	新庁舎に配置する職員数や議員数などにに基づき、総務省の地方債事業費算定基準により算定した面積に、市民の利便性や業務の効率化などの観点から必要となる面積を加え、必要な延床面積を算定します
260	カラスやハトが多いため、新庁舎では鳥害対策をしっかりと行ってほしい	3.7.(3)	大國魂神社周辺のハトやカラス等の対策を施した計画とする	建設予定地周辺に与える影響を考慮した計画とします	
261	職員検討会の意見を見ると、いかに現庁舎が老朽化し劣悪な環境の中で仕事をしているのかが分かった。今後は専門家の意見も取り入れて職員が働きやすい新庁舎にしてほしい	3.2.(3)	職員が働きやすい環境をつくる	4(9)ア	執務空間は各部署間に間仕切りを設けずオープンな空間とし、適切な文書管理により家具の高さを抑えた視界が通る計画とすることで、職員相互のコミュニケーションを図りやすくします。また、組織改正など、職員の異動にも柔軟に対応できる仕組みとします

262	市民も利用できる給湯室やウォータークーラーを設置してほしい	3.7.(3)	市民が利用できる給湯室や水飲み場(ウォータークーラー)を設置する	1(3)イ(ア)	誰もが気軽に利用できる施設であることを基本に、市民が日常的に集い、憩い、ふれあい、学び、施策を創造できる場を提供します
263	食堂のオープン時間を延長し、ラストオーダーはせめて3時半ぐらいにしてほしい	3.4.(3)	食堂の営業時間を今より延長する	4(12)イ	市民が気軽に情報交換や交流を行える場となる、レストランやカフェなどの設置を検討します
264	現庁舎は建築後50年以上が経過し老朽化している。災害時の活動拠点となるので、なるべく早く建てて欲しい				第6次府中市総合計画における重点プロジェクトにも示されているとおり、新庁舎が災害時における防災、災害復興の拠点となるよう計画を進めます
265	公共施設マネジメントの視点から公共施設の有効利用を考えると北庁舎はまだ新しいので残すべきではないか				災害時における防災、災害復興拠点やバリアフリーなどの課題を解消するためにも敷地の拡張を行い、全ての建物を建て替える計画を進めます